



公民館報

海陽

7月号
No.93

文化村HP
QRコード



QRコードに
アクセスすると
海南文化村HPが
閲覧できます。

海陽町教育委員会 2022年7月1日発行

抜けるような**青空**に響く

アフリカのリズム

コンサート「うたっておどろう!アフリカ!アフリカ!」
(文化村祭より)



(写真: 戒谷真一さん)

新任のごあいさつ

地域の子どもは地域で育てる

社会教育指導員 小泉 博



令和3年度末をもって38年間の教員生活を終え、4月より海陽町教育委員会社会教育指導員としてお世話になっております。在職中は、海陽町内では18年間お世話になりました。その間だけでなく、常に海陽町の地域の方々や保護者、子どもたちとふれあう機会が多くあり、温かな地域性の中で充実した日々を送ることが出来ました。誠にありがとうございました。

このたび、このような機会をいただき、

自分の生まれ育った故郷のために微力ながらも何かお役に立つことができればと思っています。

さて、近年、急激な社会の変化や多様化の中、子どもや家庭を取り巻く環境も大きく変容しています。利便性を感じる時もあれば、逆にスピード感があふれ、一年経てば遠い過去のように、めまぐるしい変化に右往左往する時もあります。「十年一昔」といつていた時代が懐かしく感じるようになりました。

さらに、長期にわたる新型コロナウイルス感染拡大による生活環境の変化、不安定な国際社会問題だけでなく、先の見えない時代になっているように思います。そのような中、教育環境も大きく変わろうとしています。しかし、教育内容がどう変わっていくとも、変わらないもの、変えてはいけないものもあると思います。何が正解なのか見えづらい時代・人生

だからこそ、周りの流れにただあわせるのではなく、しっかりと地に足をつけ、子どもたちの「生きる力」「自ら学ぶ力」「自らの道を切り拓いていく力」を地域の教育力を生かし、学校と地域がともに協働できる教育活動が重要であると思います。

私の担当はコミュニティスクールに関することや人権教育に関することが主となります。様々な教育活動を通して子どもも学校も地域も互いにふれあい、協働できる機会をつくっていければと思いますので、ご指導ご協力の程をお願いいたします。



第17回

海陽町文化協会祭

コロナ禍により2年間開催できず、今年は感染防止対策を講じたうえで久しぶりの作品の展示ができました。阿波海南文化村の海南文化館、工芸館、いきいき館を会場に、5月3日(火)から5月8日(日)まで6日間開催しました。好天に恵まれ、阿波海南文化村祭に来場された方々、あるいはDMVに乗車目的で県内外からお見えになったお客様にもご覧いただき、文化協会会員の力作揃いの作品に目を奪われた方も多かったのではないのでしょうか。



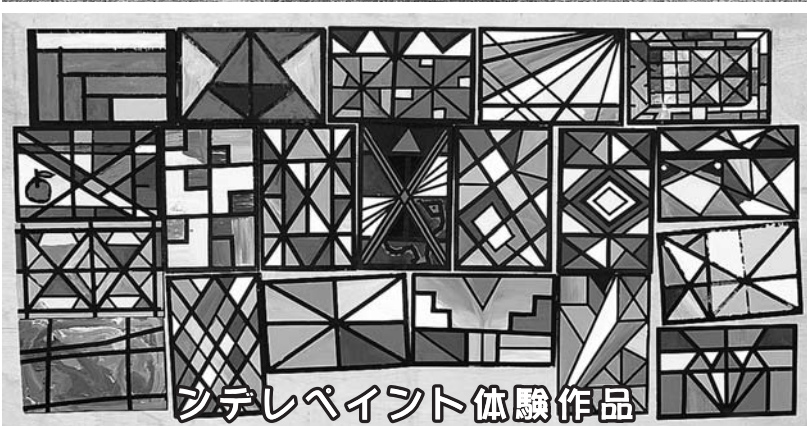
阿波海南文化村祭

5月3日～5日開催

3日間晴天に恵まれ、文化村に子どもたちがあつまり、賑わいました。3日には、科学工作教室、4日には、描こう！南アフリカの幾何学模様アート「ソデレペイント」、つくろう「箱形の楽器 カホン」、たたこう！アフリカの太鼓「ジェンベ」、コンサート「うたって おどろろ！アフリカ！アフリカ！」、他にも最終日は、映画上映会「ライオンキング」等々盛りだくさんの催しが行われました。



ジェンベをたたく



博物館企画展

「濱晶雲展」より

5月3日（火）の午後、令和4年度海陽町立博物館 春の特別企画展「海陽町那佐に生まれた日本画家 濱晶雲展」の作品解説会がありました。故人の作品を知る見学者などが町内外から一堂に会し、作風等について長尾正大館長の解説に聞き入り、作品の鑑賞を行いました。また、展示期間中、海陽町の小中学生が美術の学習で見学しました。

那佐の地に遺した濱晶雲の作品が、若い世代から高齢の方々にまで永く愛され、海部の美しい文化を未来へ語り伝えていくことがわれわれ町民に切望されます。



会場入口



晶雲が使用した道具の展示



在りし日の濱晶雲の貴重な映像



濱氏と来館された方々



作品解説会の様子



説明を聞く中学生

地域コミュニティの中で

―様々な体験や触れ合いの場について―

社会教育指導員 小泉 博

「この地に何十年と暮らし
ているが、こんな現象は初め
て。」近年、毎年のように異
常気象ともいえる現象が日本
だけでなく世界各地で見られ、

その被害も予想をはるかにこ
える甚大なものとなっていま
す。また、いつ起きるか分か
らない地震等のその他の災害
も含め、「知識・情報収集」

と「備え」そして「地域コミュ
ニティ」の重要性を感じてい
ます。また、気温が急上昇す
るこの時期は、大丈夫と思っ
ていても「熱中症」は急に襲
いかかります。今夏も災害に
は十分気をつけなければなり
ません。声かけをしながら互
いに命を守る協働体制が築い
ていければと願っています。

改めまして、今月号から人
権教育コーナーを担当するこ
とになりました。どうぞよろ
しくお願いいたします。

さて、数年前、『「心つな
がる仲間作り」をめざす人権
教育』というテーマで福井脩
氏が講演をされた時のお話を
紹介します。

『前章略々 関係論的に
言えば、「差別とは、人と人
との関係の歪みゆがみによって生じ
る問題である」「人と人との
関係の軋みきが生み出している
声に出ない悲鳴が差別の状況
である」「自分という存在は、
単独に存在するのではなく、
他者（他人）との関係によっ
て存在するものである」とな
るでしょう。このように認識

できない状況が「差別状況」
だと思えます。以前であれば、
「差別する側・される側」が
あり、差別はその固定されて
いた「差別する側」から一方
的に投げつけられる状況でし
た。

しかし、いまは状況変化に
伴って、差別への認識も変わ
り、人は誰でも「差別する立
場」に立ったり、逆に「差別

される立場」に立ったりする。
状況（場）が人の関係性をつ

くり、その「関係の歪み」に
よって、人は「差別者」になっ
たり、「被差別者」になつたり
します。人の関係性の歪みが

差別の元だとすれば、差別を
解消するには、その歪みを正
すために、まずその関係性そ

のものを取り結ばなければな
りません。「場」の共有です。
子どもは、いまその場から

逃走しようとしています。
脳機能学者の苦米地英人氏
は、「私」↓「家族」↓「町内」…

と、「場」のステージをあげて
いくことを提唱しています。

「自分とは、決して単独で
存在するものではなく、他者
（他人）との関係によって存
在するものである」という考
えを子どもにしっかりと身に
つけさせる、それが「仲間づ
くりの人権教育」であるとい
えます。

学校内外にたくさんの「場」
を作り出す。それは、《主体
と客体、自分と相手、そうい
うものを統合した「場」》で
す。その「場」の中に自分が
いるということを見覚させる
ところから仲間づくりの人権
教育は出発するといえます。』

福井脩氏のお話は、子ども
だけの関係性だけでなく、成
長にかかわる全ての人との関
係性こそが大切であると伝わっ
てきます。

子どもは何か疑問があると「どうして?」「何で?」とすぐに問いかけてきます。好奇心旺盛で何にでも興味関心を抱く時期でもあります。同時に純粋が故に他からの影響も大きく受けやすいともいえます。学校や家庭、職場・地域等、子どもの成長過程の様々な「場」の中で、様々な人と出会い、様々な体験や触れ合いを通してより良い関係性を築いていけたらと願っています。

その「私」から「家族」・「地域コミュニティ」のそれぞれの場合、人権意識を育む場になればと願い、子どもの発達段階に応じた資料等をこのコーナーでいくつか掲載させていただきます。ご一読いただければ幸いです。

じてんしゃの

おねえちゃん

このまえ ほくが みちを
あるいているとき
うしろからじてんしゃが
きたからはしへ
よけたんだ。
そしたら じてんしゃの
おねえちゃんが
「ありがとう」って
とおっていったよ。
ほくは よけただけなのに
ありがとう???
いいことしたのかな?
これが いいことなんだ!
いいことを おしえて
くれた
じてんしゃの
おねえちゃん
ありがとう!



これは、小学校「ひかり1年」に掲載されている文章です。

人との出会いや触れ合いの中で、何を感じ成長していくのでしょうか。

おばあちゃんの手

「おばあちゃん、大きいやいしょう。」
わたしは、おばあちゃんと手を 合わせてみて
びっくりしました。
「おばあちゃんの手、いいなあ。」
「ぶっついだろ。おばあちゃん
はな、この手で わらを
うったり しめなわを
なったり するけん、
こんなざらざらした手にな
ってしもたんよ。
ゆりちゃんの手 だったら、
二つか三つ になったら、
手がひりひりしていたくて
ようせんだらうな。」
と言って わたしの手を

にぎりました。

おばあちゃんは、しめなわを 一日に 八十もなうのです。

しめなわづくりが、おばあちゃんのごとです。

おばあちゃんは、七十さいにもなるのに

しめなわを なっているのです。

おばあちゃんは、ばんごはんがすむと、

くだびれたのか
すぐ ねてしまいます。

でも、あさは、お日さまより早く おきます。

なやで いっしょうけんめい しめなわを なっています。

きんじよの おばさんも
二、三人 手つだいに

来てくれて、いっしょに話をしながら つくっています。

ときどき わらいごえも

聞こえてきます。

でも、二十年前、おばあちゃん
の わかいころには、し
めなわづくりを やめたい
なあと おもったことがあ
るそうです。

十一月が 来て、さむくな
ると、手でわらを

こすりあわせて 力をいれ
て なって いくうちに
手のひらの しわのところ
から きれってきて、ちがに
じんできます。

くすりを いくら めって
も 手がひどくあれて、水
を さわるのも いやにな
るそうです。

やっと 年の暮れが
くると 一年かかって
つくった しめなわに
かざりをつけて
しあげます。



それを となりの おじい
ちゃんや ういのおばあちゃ
んや たくさんの 人たち
とおおさかまで うりに
いきます。

道ばたに みせを 出すの
で 北風がふきつけてと

ても さむいそうです。な
じみの おきやくさんは、
「おばあちゃん、今年も
よう来て くれたなあ。」
「おばあちゃん、しめな
わが ーばんかっこうが
ええわ。」

「おばあちゃんが こんじ
お正月が こんのんよ。」
と言って、よろこんで

かって いった くれます。
おばあちゃん、しめなわ
は、四日間でぜんぶ
うりきれます。

だから、大みそかのばん、
フェリーに のって
かえってきます。
フェリーの 中では、
「今年は ひじいだったわ。」

「あんたも ぜんぶ うれ
たで。」

「おばあちゃん、ようけ
おみやげ ころたなあ。」
「お年玉 たくさん あげ
たいなあ。」

などと、いっしょに 行っ
た おばあちゃんたちと

話はずむ そうです。
わたしは、そんな おばあ
ちゃんに いつまでも元氣
で いて ほしいと ねがっ
ています。



これは小学校「ひかり2年」
に掲載されている文章です。
おばあちゃんから聞く苦労
や仲間との助け合いのお話。

手に染みいるおばあちゃんの
豊かな経験や知識・技能等へ
の触れ合いを通して、高齢者
の方々に対して、子どもの心
にはどう映ったのでしょうか。

【参考文献】

- ・ 福井脩氏「平成二十年
度海部郡人権教育研究
大会講演会」
- ・ 徳島県小学校人権教育
研究会「ひかり1年」
- 〔じてんしゃのおねえちゃ
ん〕 徳島県教育委員会
「ありがとうを伝えたい
『私からの手紙』」
- ・ 徳島県小学校人権教育
研究会「ひかり2年」
- ・ 那賀川町地域教材
※ 「ひかり」： 徳島県小
学校人権教育教材

令和4年度 徳島県中学校選手権大会結果

〈バドミントン〉

★県ジュニア新人大会 〈4月16・17日 鳴門アミノバリューホール〉

【男子】3年 シングルス 優勝 村上文哉(穴喰中)

準々決勝 村上 2-0 高木(小松島) 準決勝 村上 2-0 川口(藍住)

決勝 村上 2-0 藤原(不動)

【女子】3年 シングルス 準優勝 横 凧紗(穴喰中)

準々決勝 横 2-0 住友(藍住東) 準決勝 横 2-0 伊勢(鳴門一)

決勝 横 0-2 天羽(徳島)

★県中学校選手権大会 〈6月4・5日 阿南市スポーツセンター〉

【男子】ダブルス ベスト4 村上文哉・寺崎隼颯(穴喰中)

準々決勝 村上・寺崎 不戦勝 狩野・奥谷(城東)

準決勝 村上・寺崎 0-2 小林・久田(小松島)



海陽・穴喰中女子バレー
(県中選手権大会ベスト8進出!!)

〈バレーボール〉

★県中学校選手権大会 〈4月29・30日〉

ベスト8 海陽・穴喰中

1回戦 2-0 市立川島 2回戦 2-0 城西

3回戦 2-0 勝浦・上勝

準々決勝 0-2 鳴門第一

ふとしもウメがたくさんられたよ!

いつものように ぶんかむらにでかけ、みんなでひろって、カゴにあつめました。
かいようようちえんに もちかえって、たけぐしでへたをとって、みずであらい
ジュースにしたよ。

はやくともだちやせんせいと のみたいな、ウメジュース。



◆海を眺めながら座って世の中のことを考えるのにちょうどいいパビリオン。夜間には妖怪が集合するような雰囲気。

This pavilion is a nice spot for contemplation while looking out across the ocean. Although at night it looks a bit like a hang-out for ghosts.

◆普段の波は静かでスムーズに打ち寄せてくる。

On a regular day, the waves move smoothly and break quietly.

◆だけど、天気が荒いとこんな勢いで砂にクラッシュしてくる。

However, when the weather's rough they come crashing down.



◆海陽町を代表する木、松が豊富に生い茂っていて、まさに松の原。この木は台風や波浪の被害から周辺の住宅街を守るために植えられたもの。

Pine trees (*matsu*), Kaiyo's representative tree, grow thickly around the shoreline, hence the fitting name Matsubara, which means "field of pine" in Japanese. They were planted to protect the surrounding residential area from the effects of typhoon and large waves.

◆2019年の台風で北側にある多くの木が枯れてしまい、今でもその跡が見えるけど、植えなおしの活動が進んでいるよ。

On the northern side of the beach, the remnants of pine trees ruined by a large typhoon in 2019 are visible among the new plantings.



◆「マムシ」警戒の看板がいくつか設置されている。「世界の危険な蛇TOP10」の内、9割が生息しているオーストラリアにはこの種の蛇はさすがにいない。とはいっても気を付けるべき!

Signs warning about the presence of pit vipers (*mamushi*) can be spotted amongst the pine trees. While 90% of the most dangerous snakes in the world can be found in Australia, the pit viper is not one of them. Even then it's good to be alert!

◆周辺にはジョギング・ウォーキングコースがいくつかあって、存分に松林と海の風景を楽しむことができるよ。

There's several jogging/walking courses of varying lengths around the shoreline or through the pines.

◆探索中、いろいろ見られて楽しかった。大里松原を勧めてくれた皆さん、ありがとう!

Thank you to all the kids that recommended Ozato Matsubara! It was fun to explore the area.

次回の「I went to…」シリーズでは、「小・中学生が選ぶ海陽町のおすすめスポット」で2位に輝いた「轟の滝」に行ってきました!海陽町のCIR(国際交流員)はどんな感想を持ったのでしょうか?

その他にも、海南文化村での藍染体験やグローバルカフェ、Pop Englishボードゲームイベント等についての記事もアップしています。

一般・子ども向けのイベント情報や教育教材(クイズやゲームなど)も定期的にアップしているので、是非HPをご覧ください。



Global Kaiyo(グローバル海陽)だより

海陽町のCIR（国際交流員）が運営している海陽町のグローバル活動情報発信WEBサイト「Global Kaiyo（グローバル海陽）」では、5月より、CIRが海陽町のいろんな場所を訪れ、その感想を発信する“**I went to...**”「海陽で行ってみた！」シリーズの連載を開始しています。

今回の公民館報より、ネット環境がない方にもお楽しみいただけるよう、“**I went to...**”「海陽で行ってみた！」の記事を掲載していくコーナーを設けました。WEBサイトの方では随時記事を掲載していきますので、是非お楽しみください。

<国際交流員（CIR：Coordinator for International relations）とは？>

地域の国際化を推進する活動を行っている外国人スタッフです。日本語能力の高さを生かし、海陽町の国際化のために日々活躍しております。

"I went to..."「海陽で行ってみた！」大里松原海岸編

Apr30

◆海陽町で働くグローバルスタッフが町中のいろんな場所を訪問する“**I went to...**”「海陽で行ってみた！」シリーズ！！ここでは、海外視点からの感想や撮った写真を町の皆様や国内外に日本語と英語で発信するよ～！

In our “I went to...” series of articles, we will post our impressions and photos of different places that we’ve visited around Kaiyo. As foreigners living in Kaiyo, we want to share our perspectives with the townspeople and people living across Japan or overseas.

◆先日、海陽町の子どもたちに町内のおすすめスポットをアンケートしたところ、なんと、45人以上が「大里松原海岸」をあげていました！というわけで、今回はオーストラリア出身の Sean（シヨン）が大里松原に立ち寄ってみました。

In a recent survey we ran, over 45 school-aged children ranked “Ozato Matsubara Beach” as one of their favorite spots in town. So, Sean from Australia visited Ozato Matsubara as our first destination. We hope you enjoy reading his thoughts and photos.

◆「日本の白砂青松百選」に選ばれた大里松原海岸。三日月形で砂浜は2.5km以上の長さがあるとのこと。砂浜から海を見ると水平線がはっきりと見えるよ。

Ozato Matsubara Beach was selected as one of “Japan’s 100 Best Beaches with White Sand and Blue Pine,” and has a crescent-shaped shoreline spanning 2.5km. From the sand you can clearly see the horizon line.

◆オーストラリアの海岸の砂に比べると砂の色はちょっと濃いかも。

To be fair, the colour of the sand at Ozato is a little bit darker in comparison to the beaches of Australia.

◆看板によるとアカウミガメの産卵を守るために1998年に車両乗り入れ規制地域に指定されたそう。

In 1998, Ozato-Matsubara was designated as part of the Muroto-Anan Quasi-National Park. Vehicles are prohibited from driving on the sand to protect the loggerhead sea turtles that come here to lay eggs.



「マイ箸づくり」

海陽町CIR

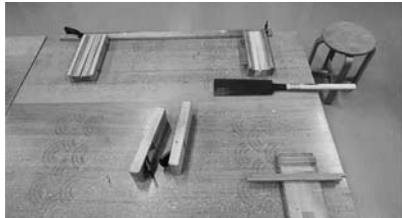
グリーン・ショーン・デイビッド

海陽町のグローバルスタッフである私ショーンと同じくスタッフのジェフ、トニーが阿波海南文化村工芸館で「お箸づくり」に挑戦してみました。

日々使っているお箸を自作できるとは、想像もしていなかったのでワクワクしながら講師の斎藤大貴先生の指導を受けました。



①素材は海陽町産の「竹」か「桜」から選ぶことができます。竹は色が明るくて、堅固な仕上がりになる一方、桜は少し焦げ茶色で手に持つと心地のいい感じがします。私たち三人は桜を選びました。



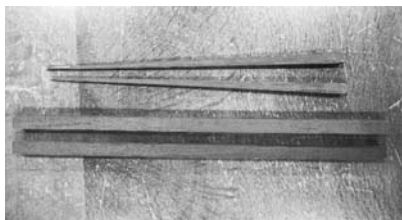
②次は木材を自分の手の大きさにあったサイズに切ります。



③テーブルに固定した斎藤先生自作の箸づくり用器具に木材を固定し、角度をつけるためにカンナで削ります。海外の方法とは違ってカンナを引く形で削ります。



④木の削りくずは豚のしっぽ、または鯉節のように見えます。先生によると燻製用のスモークチップには最高であるとのこと。



⑤お箸の形になりました！
(ここから電動サンダーで磨いて仕上げます)



⑥電動サンダーを使う工程は先生にお任せ！
最後にえごま油を塗布してフィニッシュ！



〈ジェフ〉



〈トニー〉



〈ショーン〉

～感想～

マイ箸で食べると食事がよりおいしくなったかも！

阿波海南文化村の箸作り体験に参加したい方は下記へお問い合わせください。

■体験時間：9：00～12：00・13：00～15：00（土曜日） ■体験料金：600円

TEL. 0884-73-3100（予約要）

海陽町体協サーフィン部 大会結果

2022年3月～

* ASIA OPEN Presented By Parasol 【千葉県一宮釣ヶ崎海岸】

3月22日～27日

メンクラス 3位 **上山キアヌ久里朱**

* 第30回ジュニアオープンサーフィン選手権大会 【千葉県千倉海岸】

4月16日～17日

ジュニアクラス 3位 **金沢 太規** (海部高校1年)

* 四国の右下サーフィンゲーム2022 for WORLD GAMES KANSAI

【東洋町生見海岸】

5月21日～22日

メンクラス 優勝 **安室 弦** (宮崎産業経営大学1年)

ジュニアクラス 優勝 **野中 溪佑**

ガールズクラス 3位 **上門 涼風** (八洲学園大学国際高等学校3年)

NEWS

2022年 オリンピック強化指定選手 選出

日本国内でのサーフィン組織 日本サーフィン連盟 (NSA) が日本プロサーフィン連盟 (JPISA) との協議の上4月14日発表 65名が選出され、海陽町からは6名が選出されました。



安室 丈 選手



安室 弦 選手



上山キアヌ久里朱 選手



金沢 呂偉 選手



黒川 楓海都 選手



黒川 日菜子 選手

海陽町体協サーフィン部から2024年パリオリンピック選手が出るかもしれません。応援よろしくお願いたします。

穴喰俳句 五月例会より

新緑の城へと揺れるリフトかな	川野佳代
燕の子巢から半分はみ出して	新井久実
遠い日の十三参りのなつかしさ	梅田千恵子
葉ざくらのゆさゆさゆれて泳ぎけり	長岡達江
チューリップ歌声通る母と子と	朝賀ます美
寮生のそれぞれの窓春の朝	新井駿也
流線を描いて消えし初燕	間戸谷恵子
足どりの軽くスキップ春ですな	寺崎照代
退職の日の青空と蒲公英と	外山千佳
巻き戻す夫の一生白薔薇	元木朱子
燕来る人が還ってくるやうに	木下野生

海南俳句 五月例会より

補助輪のとれし自転車夏来たる	谷口洋根子
新入生新品ばかり身につけて	田中たち子
畦道を駆ける園児ら葱の花	北川花
松の芯群雄割拠の如くなり	新居利之
川向う穀雨の中に人ひとり	山本達平
万物の日に包まるる仏生会	橋本幸子
授かりし孫はおみなご雛飾る	岳山祐弘
新緑の鱗のごとき遠き山	平道はつ子

海部ひまわり俳句

新樹光はじく水田苗を待つ	津田 一
花は葉に空き家となりし友の家	西本 公明
三姉妹こころのあやとり織りだして	榊原 礼子
笹ずしの匂いほどけて小風呂敷	南 歌子
園児らの声も青空鯉のぼり	元木 美枝子
若葉より若葉へわたる山の風	佐藤 美代子
血糖値気にして食べる柏餅	穴戸 道子
新コロに恐れ入ったと大心	濱川 雅男
猫の恋愛はあるのかその恋に	川野 照美
苔光る車道の横の遍路道	村田 恵巳
桃いちご小さな郷地特産品	穴戸 保夫
穏しきや熊野三山 風五月	シヨーン・グリーン
Peaceful pilgrimage The Grand Shrines of Kumano	
Early Summer breeze	

海陽短歌会

春雨に泣きくずれるがに花びらを散らして緋牡丹春を終えたり 蛭子美恵子
 折れるほど腰をかがめて畦歩き田の水守りの背に夕日てる 柙岡 節子
 籠もる日のつづく淋しきはつなつの夜をにぎわせる遠きいかずち 細野 綾子
 我が村に十年ぶりの一年生あさは家族で見送りており 小笹 仁子
 清流の橋のかみしも釣り人の竿のびやかに川面きらめく 桑村 未貴子
 行く春を惜しむ卯月の陽はうららあの木にこの木緑の共演 大久保スエ子
 強風にもだえる檜の木、金木犀、樟の若葉は丸ごと揺らぐ 土谷 公代

網代川柳会

うたたねの主人へみかん一つ置く 風呂谷 幸子
 道を説く和尚ガツガツ飯を喰う 井上 可樂
 とりあえず火種かくしてする和解 石垣 小道
 歳共にひたいが広くなりました 黒岩 一平
 年共に妻強くなり平和です 太田 一洋

三幸館の ご案内 (阿波海南文化村)

～海陽発 阿波や壱兆の半田そうめんを味わえるカフェ～

Wi-Fi もあるよ!

三幸館の営業は
10時～16時まで

海・山・川の幸

お食事は
11時～14時まで



定休日：月曜（祝日の場合翌日）

期間限定メニュー!!
美味しい丼がラインナップ!!



楽しい、
日替わり定食
800円 (税込)



サイドメニュー、
デザート、
ドリンクもいろいろ
あるよ!!

お食事は、
長屋門を抜けて
左に
進んでネ!!

皆さまのお越しを
お待ちしております!!

お土産も
販売してマス!!

(四国各地のカレーは
此处で調理してもらえるヨ)

